

栗崎校下町会連合会から市長へ要望

11月7日(金)に、西澤連合会長と役員の方々が栗崎地区の復旧・復興に関する要望書を村山市長に直接手渡されました。

【要望要旨】

1. 液状化対策及び道路・ライフライン復旧事業の着実な推進
2. 地積再調査事業の早期完了
3. 地域コミュニティ再生と活性化に向けた住民主体の取組への支援

村山市長から

- ・地域に戻りたいという住民の気持ちを大事にし、市ができることを、できるだけ早く実施したい。
- ・ものづくり会館の相談窓口を利用して、遠慮なく相談していただきたい。



市役所にて村山市長に要望内容を説明

栗崎地区震災復旧に関する説明会を実施

11月15日(土)に震災復旧に関する住民説明会を開催しました。栗崎文化センターを会場に2部制で行い、合計約100名の方にご参加いただきました。村山市長も出席し、『実証実験の結果』、『復旧工事の概要』、『地籍再調査の状況』について説明を行いました。



説明会の様子

◆ 説明会の詳細な資料について

説明会の資料については、金沢市のホームページにも掲載させていただいております。個別のご相談等については、「ものづくり会館の相談窓口」をご利用下さい。

金沢市 液状化対策

・相談窓口連絡先
076-208-3085
(平日10時～16時)



住民説明会の概要 ※裏面あり

◆実証実験の結果

【地表面沈下計測】

- ・沈下量は、**5mm以下** (国のガイダンスでは短期間の限度値は25mm以内)

【模擬家屋の傾斜計測】

- ・傾斜は、**最大0.7/1000** (国のガイダンスでは6/1000を超えると傾斜を意識)

地下水位の低下による地盤への影響が非常に小さいことを確認

【集水量】

- ・集水量は、平均250ℓ/分で解析値と同等

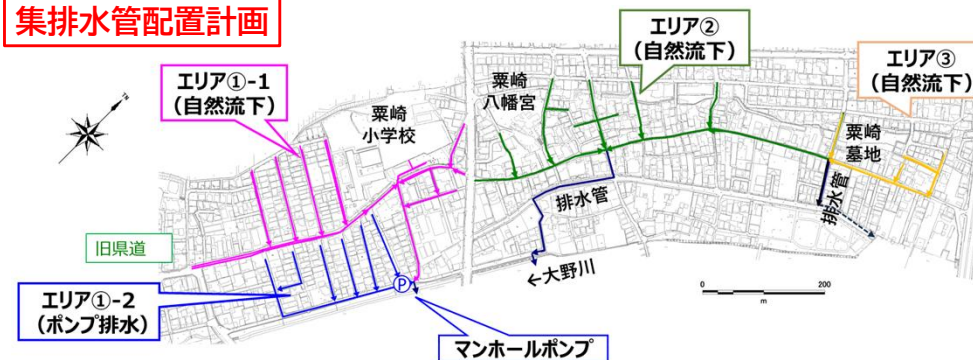
【地下水位の計測】

- ・実験値は、解析値に比べ1m程度高止まり ⇒ **対応策を検討**

- ・実験結果を考慮し、集水管の位置・深さを見直し、再解析

- ・大野川沿いで目標地下水位まで低下しないため、集排水管を深く設置
- ・地下水の流出口が大野川河川水位より低くなる一部エリア(下図①-2)をポンプにより排水

集排水管配置計画



裏面へ

住民説明会の概要（続き）

◆復旧工事の概要

【工事の流れ】

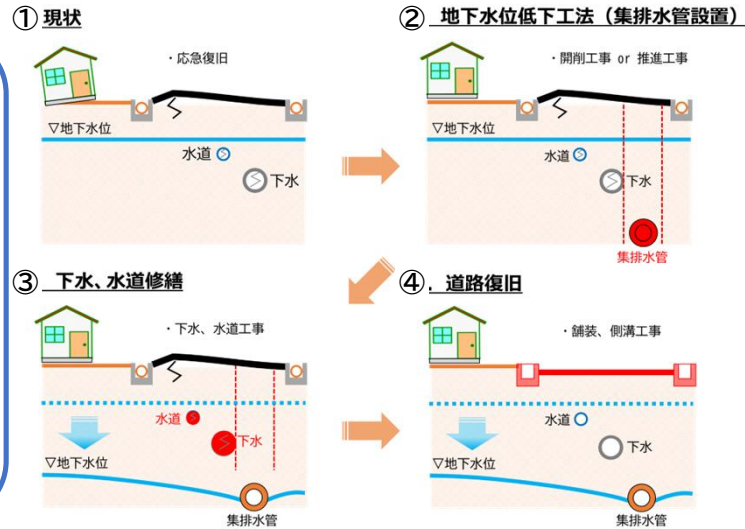
①応急復旧（完了済）

②液状化対策
地下3m程度に
集排水管を設置

地下水位を低下

③水道・下水道本格復旧

④道路・側溝の整備
舗装工事



■地盤沈下の影響への対応

実証実験の結果、建物への沈下等の影響は小さいことを確認していますが、対策前後の変化を確認できるよう、工事前に敷地・建物外周部の高さを計測

⇒対策後、建物等への影響がある場合は、国の基準に基づき対応

■井戸の影響への対応

対策後、井戸の水量低下を確認できるよう、工事前に井戸の水量を測定

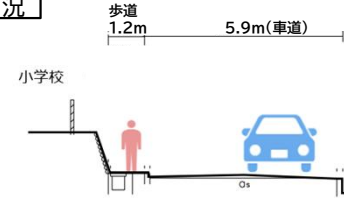
⇒対策後の水量が1割以上減少し、井戸の利用に支障がある場合に対応（実証実験の排水量の結果から、1割の季節変動を考慮）

◆復旧工事のスケジュール

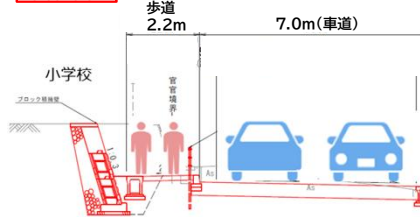
エリア	内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12
栗崎小学校 エリア (エリア①)	□ 液状化対策工事	前倒し			事後評価		
	□ 道路・水道・下水道復旧						
八幡宮・墓地 エリア (エリア②③)	□ 液状化対策工事				事後評価		
	□ 道路・水道・下水道復旧						

◆小学校前の歩道拡幅 歩道幅1.2m → 2.2mに拡幅

現況



計画案



※歩道拡幅に伴い、道路沿いの
桜8本(内2本は移植)・他18本を伐採予定
道路復旧後、新たに植樹を検討



◆地籍再調査の状況



	令和7年												令和8年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
全般			★説明会												
所有者立会い					完了										
現況測量					完了										
境界復元案作成															
境界復元案提示															
確定測量															

※神社・墓地側の前倒しを行い、8年度中の完了を目指し国や県と協議しています。
対象となる住民の皆様には、決まり次第ご連絡させていただきますので、ご理解・ご協力をお願いします。